

非正規雇用を止め「雇用格差」に終止符！

「グリーンスタッフの採用について」の提案を受ける！

本部は11月15日に「グリーンスタッフの採用について」の提案を受けました。内容は「グリーンスタッフについては、旅行業は平成11年から、駅業務は平成19年から採用を行ってきたが、社会的な環境変化を踏まえ、平成28年度で新規採用を終了する。」というものです。

この間東労組は「鉄道業に異なる雇用形態があることはそぐわない。契約社員制度を中止し、現在在籍しているグリーンスタッフを正社員化していくべきだ」と主張し、ビラ配布行動や国会議員への要請行動、団体交渉など組織的にたたかいをつくりだしてきました。

今後本部は「現在在籍しているグリーンスタッフの正社員化」に全力を尽くします！

主なやり取り

組合：今回「グリーンスタッフの採用を終了する理由は何か？「社会的な環境の変化」とは？

会社：グリーンスタッフ採用を始めた当時は「様々な働き方」という考え方があり、一定程度採用できたが、リーマンショック、東日本大震災以降、非正規雇用での人材確保が難しくなった。また、JR本体でも人が集まらなくなっている現状である。大量退職期の最中であり、今までのように採用だけでは対応できない。今後、ICT化・システム化・水平分業を進めていくことで対応していくことを考えている。

組合：今回の提案で、現場にいるグリーンスタッフは不安になる。どのように周知するのか？

会社：今回は「採用を終了する」ということであり、現在在籍しているグリーンスタッフを雇い止めするということではない。周知については、ホームページ等での扱いについては社内で検討する。現場での掲示や点呼での周知は考えていない。しかし、現場で働くグリーンスタッフが不安にならないよう、現場長・管理者にはしっかり周知し、不安を与えない対応ができるようにしていく。

組合：「グリーンスタッフ正社員登用試験」は今後も実施するのか？

会社：今後も該当社員がいる間は「グリーンスタッフ正社員登用試験」を実施していく。

組合：現在、JR東日本でのグリーンスタッフ在籍数は？

会社：全社で約1500名弱、内訳は駅業務で約1000名、旅行業で約500名である。

組合：現在のグリーンスタッフの各支社での駅・旅行業での内訳、ここ5年の採用実績は？

会社：現在持ち合わせていないが、各支社で聞いてもらえば明らかにする。

組合：これまで組合は「鉄道業に異なる雇用形態はそぐわない。契約社員制度を中止し、正社員化していくべきだ」との主張をしてきた。会社は「今までのように採用だけでは対応できない。今後、ICT化・システム化・水平分業を進めていくことで対応していく」というが、駅は人でなければできないサービスも多くあり、システム化等で対応できると思っていない。現在在籍している契約社員を正社員化すべきだ。また、この間行ってきた業務委託・業務移管で問題も多く出ている。現在組合は「営業職場の将来展望」の議論を積み上げていく。今回の提案とともに議論し、安全・健康・ゆとり・働きがいある駅をつくり出していく！

今後本部は「グリーンスタッフの正社員化」に全力を尽くします！